

5  
下  
聖徒伝 164

# 「救いの泉から 命の水を汲め」

イザヤ書12～14章

サタンの敗北・主の日

## アウトライン

### 0. イントロダクション

I. バビロンの滅亡 13章

II. サタンの敗北 14章

III. イスラエルの救い 12章

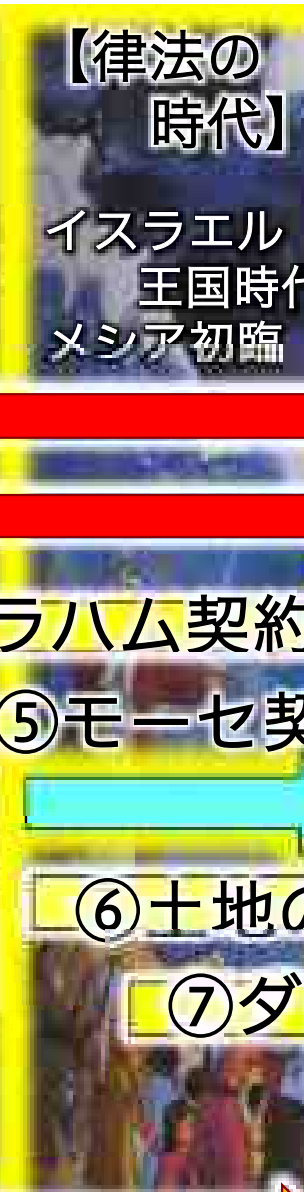
### IV. まとめと適用

主イエスの救いの泉から

聖霊の命の水を汲もう



エン・ゲディの泉の滝



【無垢の時代】

天地創造

【良心の時代】

墮罪  
~大洪水

【人類統治の時代】

バベルの塔事件

【約束の時代】

アブラハム  
~ヤコブ

【律法の時代】

イスラエル  
王国時代  
メシア初臨

【恵みの時代】

聖霊降臨  
世界宣教  
メシア再臨

【御国の時代】

千年王国  
大審判  
新天新地

①エデン契約

②アダム契約

③ノア契約

④アブラハム契約

⑤モーセ契約

⑥土地の契約

⑦ダビデ契約

⑧新しい契約

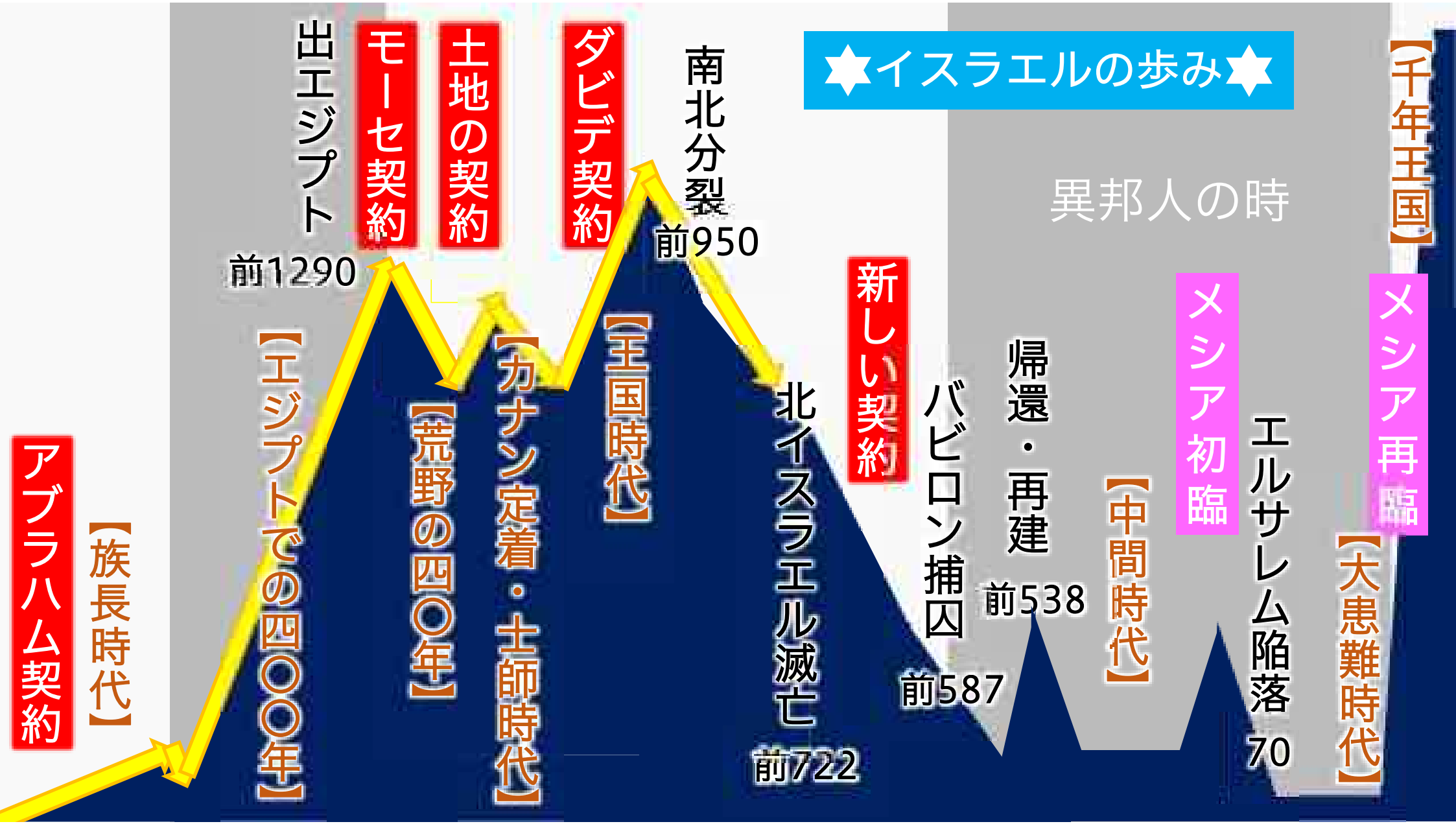
神の約束こそが  
その時代の守り

過去

現在

未来

★イスラエルの歩み★



異邦人の時

アブラハム契約

【族長時代】

前1290

【エジプトでの四〇〇〇年】

モーセ契約

【荒野の四〇年】

土地の契約

【カナン定着・士師時代】

ダビデ契約

【王国時代】

南北分裂

前950

北イスラエル滅亡

前722

新しい契約

バビロン捕囚

前587

帰還・再建

前538

【中間時代】

エルサレム陥落

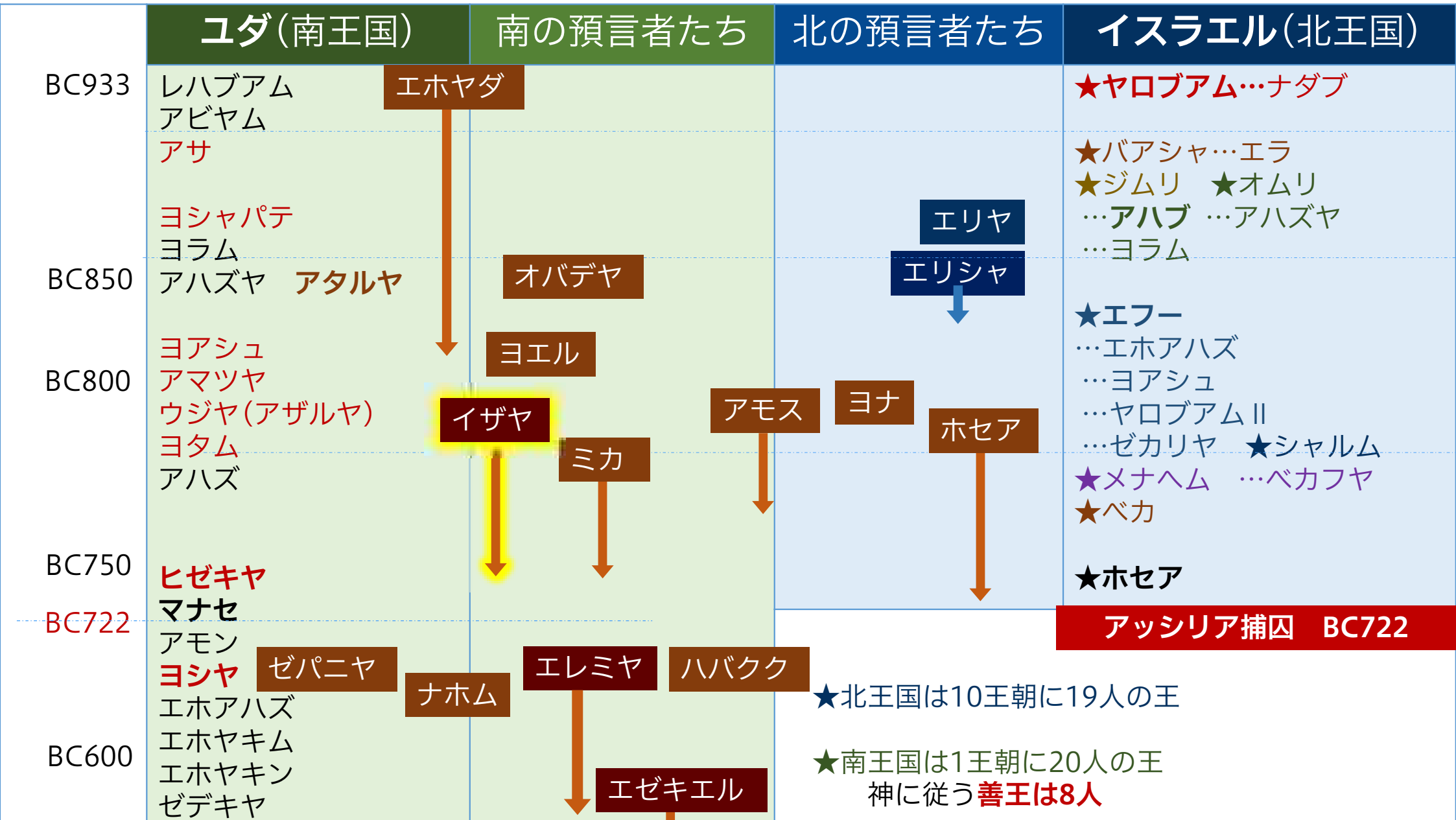
70

メシア初臨

【大患難時代】

メシア再臨

【千年王国】



## 預言者イザヤとは？

■ イザヤ = “ヤハウエは救い”

■ エルサレム在住。貴族。アマツヤ王の甥。  
結婚し、二人の子がいた。

■ 北王国に捕囚の滅亡が迫る時代の**南王国**で活躍。  
ウジヤ→ヨタム→アハズ→ヒゼキヤの時代。  
60年に及ぶ奉仕期間。ミカとは同世代。

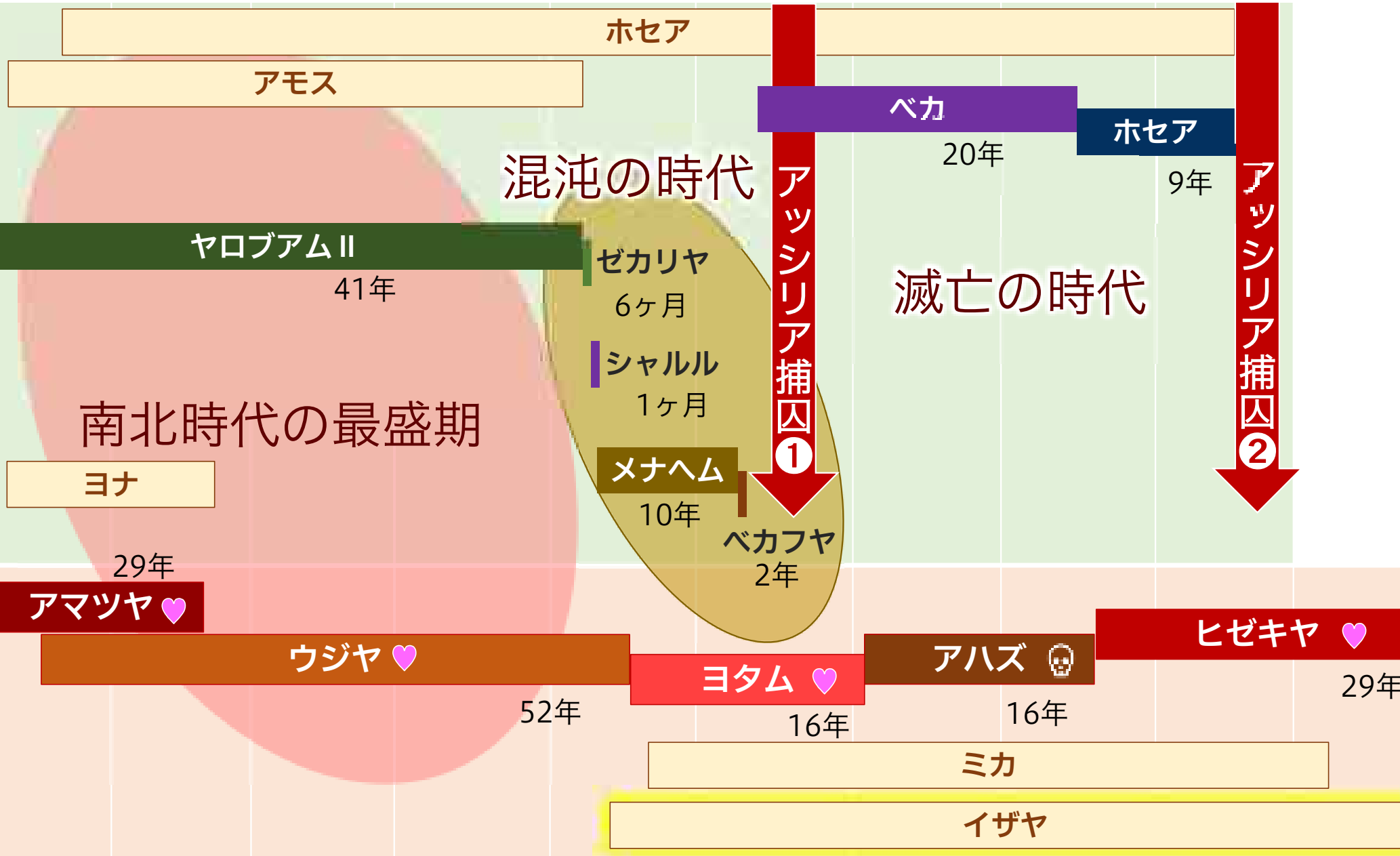
■ 間近に迫った裁きを告げ、悔い改めを迫った。  
将来の捕囚の民をも意識し、帰還の希望を語り、  
さらには、究極的な**メシア的王国**の建設を予告。



鍵を握るのは  
“イスラエルの  
残れる者”

北王国  
イスラエル

南王国  
ユダ



混沌の時代

滅亡の時代

南北時代の最盛期

アッシリア捕囚①

アッシリア捕囚②

【預言者視点で見る預言書は、こんな感じ？ 実際は？】





時代を超越しているが、  
預言そのものは、一つのかたまり

預言の内容



南北時代

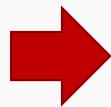


主の日



メシア的王国

南北時代



① 直近の  
苦難

メシア初臨



② 主の日  
大患難時代

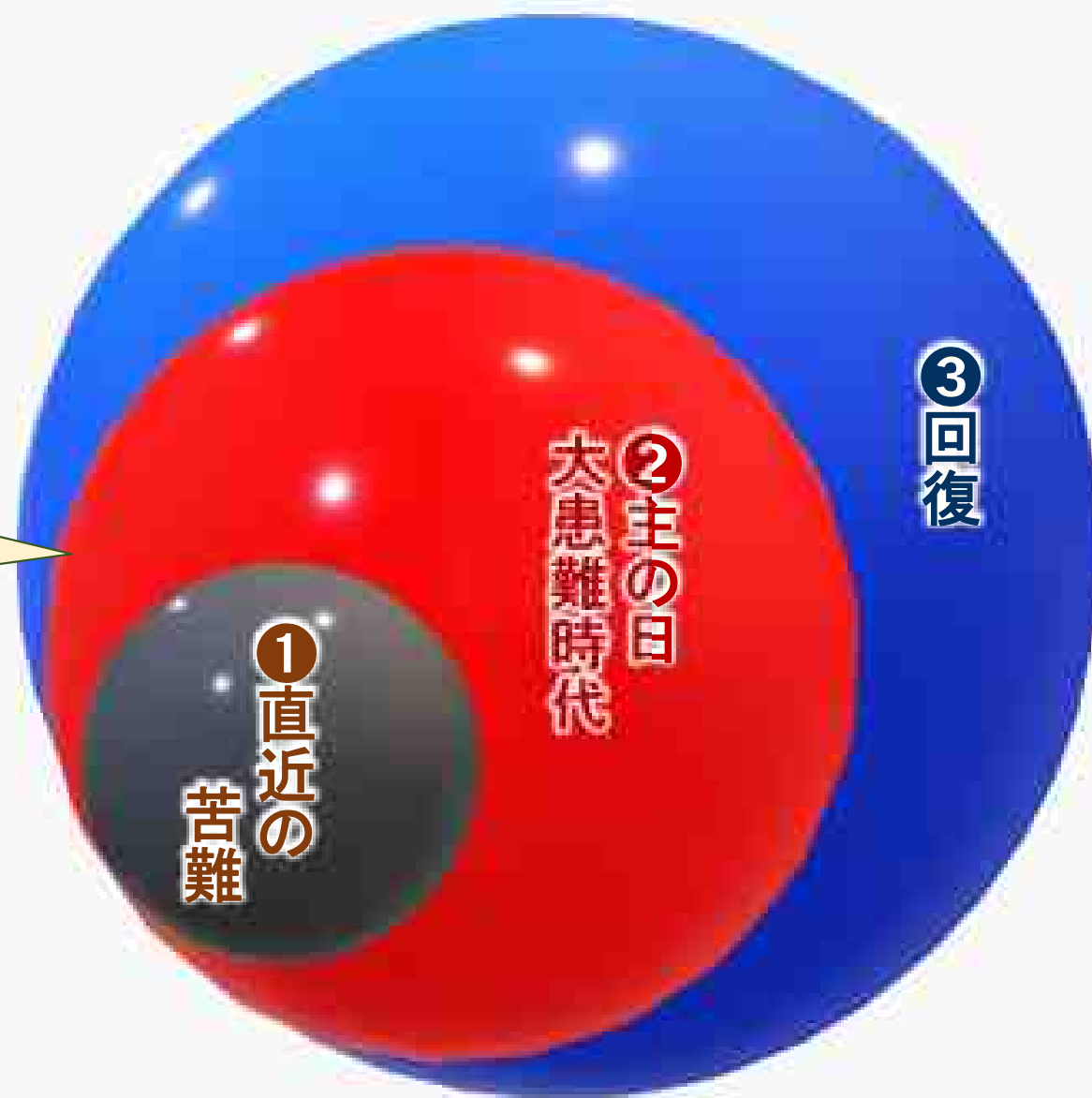


③ 回復  
メシア再臨

## 3Dで預言を捕らえる

境目なく  
連続している

立体的な一つの  
かたまりとして  
とらえよう





# 1. バビロンの滅亡

イザヤ書13章

荒野のジャッカル

## ハルマゲドン バビロン イザヤ13:1~3


バビロンについての宣告。これはアモツの子イザヤが見たものである。

「はげ山\*の上に旗を掲げ、彼らに向かって声をあげ、手を振って、彼らを貴族の門に入らせよ。わたしは、わたしに聖別された者たちに命じ、また、わが怒りを晴らす勇士たち、わが威光に歓喜する者たちを呼び集めた。」

\*木々もなく、すでに荒れ廃れた山。

■ここで描かれるバビロンは、南王国を滅ぼすバビロンをはるかに凌駕。

→究極的なバビロン = 反キリストの都



破滅に破滅を重ねる  
ハルマゲドン

## ハルマゲドン 招集 イザヤ13:4~5

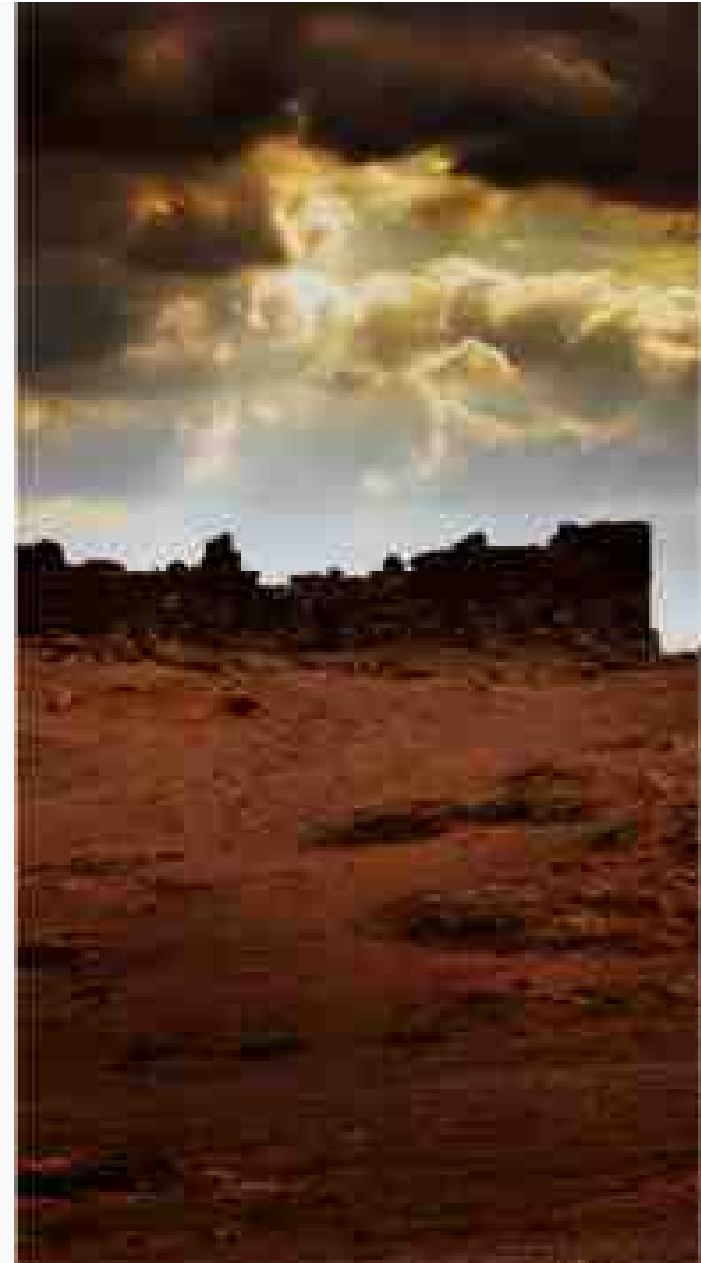
おびただしい民にも似た、山々のとどろく音、  
集まって来る国々、王国のどよめく音がする。  
万軍の【主】が軍隊を召集しておられる\*のだ。

彼らは遠い地から、天の果てからやって来る。  
全世界を滅ぼすための、【主】とその憤りの  
器だ。

\*大患難時代の最後の最終戦争。

反キリストがイスラエル殲滅の部隊を召集。

→背後で働いているのは、神ご自身。



## 大患難時代 主の日 イザヤ13:6~7

泣き叫べ。【主】の日\*は近い。それは全能者からの破壊としてやって来る。

それゆえ、すべての者は氣力を失い、すべての人の心は萎える。

\*世の終わりの裁き、大患難時代

■主の裁きを前に、氣力を保てる者はいない。



## 大患難時代 神の怒り イザヤ13:8～9

彼らはおじ惑い、子を産む女が身もだえする  
ように、苦しみと激しい痛みが彼らを襲う。  
彼らは炎のような顔で互いに驚く。

「見よ、**【主】の日**が来る。憤りと燃える怒りの、残酷な日。地は荒廃に帰し、主は罪人どもをそこから根絶やしにする。」

■ 神の怒りが地上に注がれるのが**大患難時代**。

➔ 神の裁きを逃れる者は一人もない。



## 大患難時代 神の罰 イザヤ13:10~11

天の星、天のオリオン座はその光を放たず、  
太陽は日の出から暗く、月もその光を放たない。

わたしは、世界をその悪のゆえに罰し、悪し  
き者をその咎のゆえに罰する。不遜な者の誇り  
をくじき、横暴な者の高ぶりを低くする。

■ 星々は落ち、太陽は、月は暗くなる。

→ 空前絶後の天変地異は、神の御業

■ 神の裁きを目の当たりにしても悔い改めない  
者には、徹底した裁きが下されるだけ。





## 大患難時代 神の精錬 イザヤ13:12

わたしは人を純金よりも、人間をオフィルの金よりも尊くする\*。

それゆえ、わたしは天を震わせる。大地はその基から揺れ動く。万軍の【主】の憤りによって、その燃える怒りの日に。

\*熱し、溶かし、精錬を繰り返して、

純度の高い金を造り出すように。

■大患難時代の裁きの目的は、世界と人を練りきよめること。



## バビロンの裁き 殺戮 イザヤ13:14~16

追い立てられた、かもしかのように、集める者のいない羊の群れのようにになって、**彼ら\***はそれぞれ自分の民の方に向かい、それぞれ自分の地へ逃げ去る。

見つけられた者は、みな刺し殺され、連れて行かれた者は、みな剣に倒れる。

**彼ら\***の幼子たちは目の前で八つ裂きにされ、家は略奪され、妻は犯される。

\*バビロニア人

➡ここからバビロンへの裁きが告げられる。



## バビロンの裁き 敵 イザヤ13:17~18

見よ、わたしは彼らに対してメディア人\*を奮い立たせる。彼らは銀をものともせず、金さえ喜ばず、その弓は若者たちを撃ち倒す。彼らは胎の実さえあわれみせず、子どもたちにさえあわれみをかけない。

\*バビロニアと組み、アッシリアを滅ぼした。

→かつての仲間が、最悪の敵に



## バビロンの裁き 聖絶 イザヤ13:19～20

こうして、諸王国の誉れ、カルデア人の輝かしい誇りであるバビロンは、神がソドム、ゴモラを滅ぼしたときのようになる。

そこには永久に住む者もなく、代々にわたり、住みつく者もない。アラビア人もそこには天幕を張らず、牧者たちもそこに群れを伏させない。

＊荒廃しきった地となるバビロン



## バビロンの裁き 荒野 イザヤ13:21~22

そこには荒野の獣が伏し、彼らの家々には、みみずくがあふれる。そこには、だちょうも住み、雄やぎがそこで飛び跳ねる。

山犬はその砦で、ジャッカルは豪華な宮殿でほえ交わす。その時\*が来るのは近く、その日\*はもう延ばされることはない。」

### \*大患難時代

■千年王国の間、反キリストの都だったバビロンは、荒れ果てたまま放置される。





### Ⅲ. サタンの敗北

イザヤ書14章

## 千年王国 民の帰還 イザヤ14:1~2

まことに、【主】はヤコブをあわれみ、再びイスラエルを選んで、彼らを自分たちの土地に憩わせる。寄留者も彼らに連なり、ヤコブの家\*に加わる。諸国の民は彼らを迎え、彼らのところに導き入れる。イスラエルの家\*は【主】の土地で、その寄留者を男奴隷、女奴隷として所有し、自分たちを捕らえた者を捕らわれ人にし、自分たちを追い立てた者を支配するようになる。

\*千年王国の都となるエルサレム

■イスラエルは帰還し、エルサレムから全世界を治めるようになる。



## バビロンの裁き 嘲りの歌 イザヤ14:3~4

【主】が、あなた\*の痛み、あなたへの激しい怒りを除き、あなたに負わせた過酷な労役を解いて、あなたを憩わせる日に、あなたは**バビロンの王\***について、このような嘲りの歌を歌って言う。「虐げる者はどのようにして果てたのか。横暴はどのようにして終わったのか。」

\*イスラエル

■究極のバビロンの王 ➡反キリスト\*





## バビロンの裁き 失墜 イザヤ14:5～6

【主】が悪しき者の杖を、支配者の笏を折られたのだ。

彼は激怒して諸国の民を討ち、絶え間なく彼らを討ち、怒って国々を容赦なく虐げて支配したものだっただが。

- バビロン捕囚を引き起こしたバビロニアは、ペルシャに滅ぼされた。
- イスラエルを大迫害する反キリストは、再臨のメシアによって滅ぼされる。



## バビロンの裁き 歌声 イザヤ14:7~9

全地は安らかに憩い、喜びの歌声をあげる。  
もみの木もレバノンの杉も、**おまえ\***のことを喜ぶ。『**おまえ**が倒れ伏したときから、もう私たちを切り倒す者は上って来ない。』

よみは、下界で**おまえ**が来るのを迎えようと  
ざわめき\*、死者の霊たち、地のすべての指  
導者たちを揺り起こし、国々のすべての王を  
その王座から立ち上がらせる。

\*単数形 …反キリスト

\*大犯罪者を迎える監獄の囚人たちのように。



レバノン杉

## バビロンの裁き よみ イザヤ14:10~11

彼らはみな、おまえに告げる。『おまえもまた、私たちのように弱くされ、私たちに似た者になった。』

おまえの誇り、おまえの琴の音はよみに落とされ、おまえの下には、うじ虫が敷かれ、虫けらがおまえの覆いとなる。

- よみに落とされた反キリストは、永遠の滅びに至る。



## サタンの墮落 墮天使 イザヤ14:12

明けの明星、暁の子よ。どうしておまえは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしておまえは地に切り倒されたのか。

- 最高位の大天使だったサタンは、神に反逆し、地に落とされた。
- サタンは、偽の三位一体を形成  
サタンの子 → 反キリスト
- 反キリストとサタンがつなげて語られる。



## サタンの敗北 叛逆罪 イザヤ14:13~14

おまえは心の中で\*言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山で座に着こう。密雲の頂\*に上り、いと高き方のようになる。』

だが、おまえはよみに落とされ、穴の底に落とされる。

\*神はサタンの心の中すら見透かされている。

\*神の栄光が住まう天の神殿

→究極的に信者が住まう天のエルサレム

■サタンもよみに閉じ込められる。



## バビロンの裁き 衰退 イザヤ14:16~17

おまえを見る者は、おまえを見つめ、おまえについて思いを巡らす。『この者が、地を震えさせ、王国を震え上がらせ、世界を荒野のようにし、町々を壊し、捕虜たちを家に帰さなかった者なのか。』

- 反キリストが誇っていた力、権威の一切は見る影も亡く取り去られる。



## バビロンの裁き 遺棄 イザヤ14:18~19

諸国のすべての王たちはみな、それぞれ自分の墓で、尊ばれて眠っている。

しかしおまえ\*は、忌み嫌われる枝のように、墓の外に投げ捨てられる。剣で刺し殺された者たちで、おまえはおおわれ、屍のように、墓穴に下る者たちに踏みつけられる。

\*反キリストの最期は、史上類をみない  
最も悲惨なものに。



## バビロンの裁き 消失 イザヤ14:20~21

おまえは墓の中で彼らとともにになることはない。自分の地を滅ぼし、自分の民を虐殺したからだ。悪を行う者どもの子孫は永久に、その名を呼ばれることはない\*。

彼の子らのために屠り場を備えよ。先祖の咎のためだ。彼らが立って地を占領し、世界の面を町々で満たさないように。」

\*神のいのちの書から、名を消し去られる。  
子孫も完全に絶やされる。





## バビロンの裁き 壊滅 イザヤ14:22~23

「わたしは彼らに向かって立ち上がる。——  
万軍の【主】のことば——わたしはバビロン  
から、その名も、残った者も、子孫も末裔も  
絶ち滅ぼす。——【主】のことば——

わたしはこれを針ねずみの領地、水のある沢  
とし、滅びのほうきで一掃する。——万軍の  
【主】のことば。」

■バビロンの跡地は、徹底的に荒れ廃れる。



## アッシリアの裁き 計画 イザヤ14:24～25

万軍の【主】は誓って言われた。

「必ず、わたしの考えたとおりに事は成り、  
わたしの図ったとおりに成就する。

わたしはアッシリア\*をわたしの地で打ち破り、  
わたしの山で踏みつける。アッシリアのくび  
きは彼らの上から除かれ、その重荷は彼らの  
肩から除かれる。」

\*ここで再び目前のアッシリアに記述が戻る。

■アッシリアの滅びは、バビロンの滅び、  
反キリストの滅びにつながっている。



## 神の計画 神の御手 イザヤ14:26~27

これが、全地に対して立てられた計画。これが、万国に対して伸ばされた御手。

万軍の【主】が計画されたことを、だれがくつがえせるだろうか。御手が伸ばされている。だれがそれを押し戻せるだろうか。

- 神は、アッシリアを用いて南王国をバビロニアを用いて北王国を滅ぼされる。
- アッシリアも、バビロニアも、究極的には反キリストも完全に滅ぼされる。



## 諸国民への宣告 ペリシテ イザヤ14:28~29

アハズ王が死んだ年、この宣告があった。

「喜ぶな、ペリシテの全土よ。おまえを打った杖\*  
が折られたからといって。蛇\*の根からまむし\*が出  
て、その実は、飛び回る燃える蛇\*となるのだから。

- アハズ王\*の死後、ヒゼキヤ王\*がペリシテを  
支配する。
- 悪の側から見たメシアの系譜は、蛇のように恐ろ  
しいもの。その究極が、イスラエルのメシア\*。



## 諸国民への宣告 ペリシテ イザヤ14:30~31

弱い者たち\*の長子は養われ、貧しい者\*は安らかに伏す。しかし、わたしはおまえの根を飢えで死なせる。おまえの残りの者は殺される。

門よ、泣き叫べ。町よ、叫べ。ペリシテの全土は震えおののけ。北から煙が上がり、その編隊から落伍する者がいないからだ。

\*ペリシテも、アッシリアの侵略の手に。

■へりくだり、主に信頼する者たち\*は救われ、主に背く傲慢な者たちは、滅びに至る。

→ペリシテが象徴する、「異邦人の運命」。



## 罪の告発 シオンの礎 イザヤ14:32

異邦の使者たち\*にどう答えるべきか。

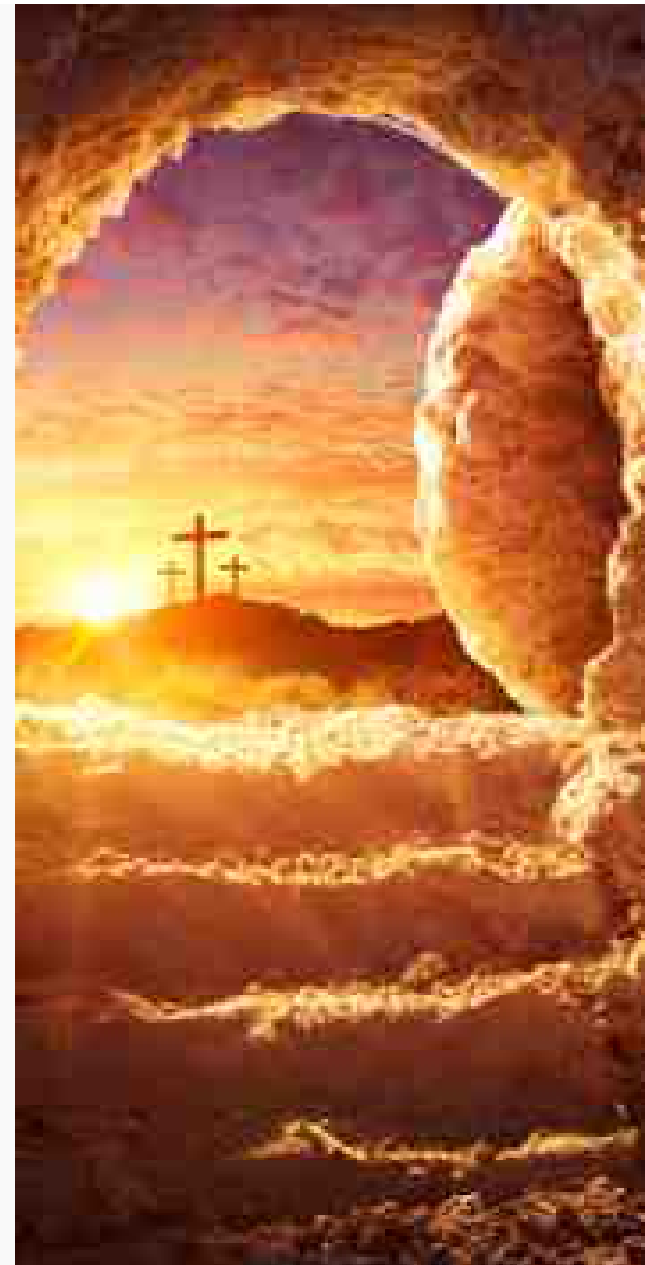
『【主】がシオンの礎\*を据えられたのだ。主の民の苦しむ者たちは、ここに身を避ける。』』

\*救い主を求め、エルサレムに上る異邦人。

➡東方からの博士たちは、その先駆け

\*イスラエルのメシア

➡十字架で死んで復活した、イエス・キリスト





### Ⅲ. イスラエルの救い

イザヤ書12章

エン・ゲディ

## 千年王国 主への感謝 イザヤ12:1

その日\*、あなた\*は言う。「【主】よ、感謝します。あなたは私に怒られたのに、あなたの怒りは去り、私を慰めてくださったからです。」

\*主の日、大患難を通過した後、千年王国

\*イスラエル

■世の終わり、大患難時代を通過した後、再臨した栄高のメシアが、イスラエルを都エルサレムへ帰還させられる。





## 千年王国 救いの泉 イザヤ12:2~3

見よ、神は私の救い\*。私は信頼して恐れない。  
ヤハ、【主】は私の力、私のほめ歌。私のために  
救いとなられた\*。あなたがたは喜びながら  
水を汲む\*。救いの泉\*から。

\*神の救いとは、メシア、イエス・キリスト

\*水(マイム)は聖霊の象徴

…この節を歌にしたのが、“マイム・マイム”

■主イエスを信じた者に、聖霊が満たされ、  
喜びがあふれだしていく。



エン・ゲディ

## 千年王国 主への感謝 イザヤ12:4

その日、あなたがたは言う。「【主】に感謝せよ。その御名を呼び求めよ。そのみわざを、もろもろの民の中に知らせよ。御名があがめられていることを語り告げよ。」

- 千年王国で、すべてのイスラエルは、栄光の王、主イエスを讃え、諸国に伝える。主の御名は、永遠に語り継がれていく。



## 千年王国 賛歌 イザヤ12:5~6

【主】をほめ歌え。主はすばらしいことをされた。これを全地に知らせよ。

シオンに住む者よ。大声をあげて喜び歌え。イスラエルの聖なる方は、あなたの中におられる大いなる方。」

■ 主の栄光が全地に満ち、  
全ての民は、心から主を讃える。





#### IV. まとめと適用

主イエスの救いの泉から聖霊の命の水を汲もう

の

雨期・ユダの荒野のワジ

## 13～14章・バビロンと反キリスト、サタンの滅び

- 直近に迫ったアッシリアの侵略。その後に来るバビロニアの侵略。  
→ イスラエルの究極的な裁きは、反キリストによる**ハルマゲドン**。
- 最大の苦難を経て、イスラエルは練りきよめられ、**民族的救い**に。  
反キリストはよみに落とされ、地上の**悪は一掃**される。
- 千年王国の間も、バビロンは荒涼とした不毛の地であり続ける。
- すべての悪の根源である**サタン**も、完全に裁かれる時が来る。  
→ 最終的な白い御座の裁きを経て、**永遠の滅び**へ(黙20章)

## 12章・イスラエルの救いの泉

「あなたがたは喜びながら水を汲む。 **救い**の泉から」

- この節を踊りにしたのが、「マイム・マイム」  
イスラエルのキブツ（共同農場）の開拓で  
水脈を掘り当てた喜びを歌った（1937年）。  
50年代、日本へ。フォークダンスの定番に。
- 「(主の)**救い**の泉」→「**イエシュア**の泉」  
主イエスを信じて救われ、聖霊が内住される。
- イザヤが告げたのは、  
メシアの救いの原則に基づく **イスラエルの救い**



## 12章・イスラエルの救いの泉

- イスラエルに約束された**救いの泉**が、異邦人にも救いとなった。私たちが覚えるべきは、神の民、**イスラエルの真実の救い**。
- 神の永遠のご計画は、今も**イスラエルを中心**に進んでいる。こぼれ落ちた恵みにあずかった者として、**神の民の回心**を祈ろう。  
→メシアニック・ジューを覚え支え、**ユダヤ人の救い**を祈ろう。
- 彼らに**妬みを起させる**ほど、聖書を学び、主の祝福を体現しよう。ひたすら**主を慕い求める**ことから、何より強い力が生まれる。

**ユダヤ人にも誰の目にもお構いなく、主を慕い求めていこう!!**

「天のお父さま。わたしは、あなたに背き、罪を重ねてきました。  
日々犯してしまう罪をも告白します。この罪をゆるしてください。

わたしは、神のみ子イエス・キリストが、

①わたしの罪を贖うために十字架で死に、

②墓に葬られ、

③三日目に復活したことを信じます。

福音は、イスラエルのメシアによって成し遂げられました。

この真実を前に、今を生きるユダヤ人の目を開かせてください。

彼らに妬みを起こすほどに、ますます主を慕い求めさせてください。

私の内が御霊で満たされ、さらに喜びあふれるものとされますように。

主イエス・キリストのみ名によって祈ります。 アーメン」